

平成27年度第1回坂井輪地区公民館運営審議会概要

実施年月日	平成27年6月12日(金)午後2時～		
会 場	坂井輪地区公民館 4階 講座室1	出席委員 8名	傍聴人 0名
出 席 者	運営委員	郷扶二子、伊藤智之、高橋真規子、土田幸子、土屋 浩、 横坂幸子、中島伸子、松尾雅美 (石川 治委員, 加藤かおり委員は欠席)	
	事務局	坂井輪地区公民館	山田久美子、白井嘉弘, 高橋勇人
		西地区公民館	前田和隆、南部浩美
		黒埼地区公民館	鳴海俊明、小竹憲幸
	小針青山公民館	渡邊ますみ	
議 題	1 平成27年度新潟市公民館事業の基本方針について(資料1) 2 平成26年度西区公民館事業報告及び平成27年度事業計画について(資料2・3)		
山田館長あいさつ			
委員自己紹介			
議長・副議長選出 委員の互選により、郷委員を議長、伊藤委員を副議長として選出。			
議長, 副議長あいさつ			
審議内容について以下に記載する。			
1 平成27年度新潟市公民館事業の基本方針について			
坂井輪地区 公民館長	新潟市公民館事業の基本方針について、新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」や教育 ビジョン第3期実施計画を踏まえた、3つの基本方針に基づいた6つの重点事業について説 明。		
2 平成26年度西区公民館事業報告及び平成27年度事業計画について(資料2・3)			
郷 議長	平成26年度公民館事業の報告及び平成27年度事業計画について、各館ごとに区切って 事業報告と事業計画という形でお話を進めていこうと思いますので、まずは坂井輪地区公民 館からお願いいたします。		
坂井輪地区 公民館長	平成26年度公民館事業の報告及び平成27年度事業計画、平成26年度事業評価シート について説明いたします。 以下、資料によって説明。		
郷 議長	ありがとうございました。 では、坂井輪地区公民館の26年度の報告、27年度の計画について、皆様ご意見、ご質 問はありませんでしょうか。 地域デザイン講座、松尾委員がかかわっている講座ですが、なにかやっと地域の活動と結 びついてきているんだなというのをお話を聞いて感じたのですが、松尾委員の方からどんな 感じなのか少し報告していただけますか。 お願いします。		

<p>松尾委員</p>	<p>私は1年目の講座で受講生として入って、その時はこの西区をもっとこうしたいという思いがすごく強くて、大きな課題にばかり目を向けてしまうということがありました。その課題が大きすぎて自分たちの力では変えられないようなテーマについて話をしていたので、実践のところまではいかなかったんです。今年は3年目になって課題を絞ったり、terachulネッサンスで寺尾中央公園というように場所を絞ったりすることで実現性が増えてきて、もっとできるんじゃないかという雰囲気になってきました。入門編から実践編へ、さらに実践編パート2までいって、やっと受講生主体で自分たちで西区をこうしたい、こうするためにはこの人に助けを求めたいみたいなどころまでいっている感じがあります。企画運営委員も受講生がやりやすいようにやっと成長してきたというか、手助けができるころまで来たと思うので、私たちも受講生とともに頑張っている感じています。</p> <p>この講座も準備自体1年かけてやってきたので、4年間この講座にかかわっているんですけど、その記録集を作る予定です。課題としてコミュニティ協議会さんとのかわりを持っていないので、記録集をきっかけにその方にも私たちがやっているこの講座のことを知っていただいて、もう少しいろんな地域の方と交流が持てるようにできたらなと考えています。</p>
<p>郷 議長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>すごく素敵にやっている人の顔が見えてくる講座になってきているんじゃないかなと感じました。この地域デザイン講座は公民館の事業の中で、まち協やコミ協からは理解が浅く見えにくい講座なので、まちづくりということで聞いていたのですが、それが形になって、まちが見えたり公園の風景が見えたりしながら語ってくださっているんだということがよくわかって、今年度の実践編も楽しみだと思いました。</p>
<p>横坂委員</p>	<p>ちょっとお聞きしたいのですが、青少年の居場所の事業のところ、26年度フリースペース居場所スタッフの人数について、回数と生徒の数が出ていて、見守り居場所スタッフ会議というのが1回で4人ということなんです、実際にはスタッフはどのくらいいらっしゃるのでしょうか。</p>
<p>坂井輪地区 公民館長</p>	<p>スタッフは4人だったんですが、実際に今、来てくださっているのが2人。しかし健康上の理由等でその2人もあまり参加ができず、今、居場所スタッフをどのように確保していくかが課題です。地域の方の協力をいただくのも必要なことだと思いますし、青少年の居場所そのものについての理解を深めていくところから、きっちりと足元を見て掘り起こすことをしていけないといけません。居場所の意味を確認し、何のため地域の人たちから見守っていただくことが必要かということを確認していかなければならないのかなと思っています。</p>
<p>郷 議長</p>	<p>私も以前居場所のスタッフ登録をしていたんですけど、子どもたちの居場所に対して何を求めているか、私たちスタッフが何をしたらいいかがちょっとわかりにくくなったかなと感じていました。昔は居場所に来た子どもたちと大人スタッフが一緒に係わり合いながら、何か事業をしたり、一緒に活動したり、イベントをしたりというのが何回かあって、子どもたちとスタッフも名前と顔が一致するくらい関係性が持っていました。今は子どもたち同士で居場所が居場所というのが、今の子どもたちが求めている居場所なのかなと。そこで私たちが安全確認のためにいるのか、何のためにいるのかということが、もう少し館長がお</p>

	<p>っしやっみたいに検証が必要なのかなと思います。青少年の居場所のスタッフの在り方とか、必要とされているところをもう1回学び直して、その上で募集をしたり一緒にやっていくというのがいいのではないのでしょうか。ただ人がいて見ているだけのスタッフではないのかなという気がしています。</p>
坂井輪地区 公民館長	<p>施設が改修されてスペースも非常に広がって、坂井輪中学校からも近いということもあって、中学生がワイワイと過ごしています。事務所からもすぐ見えるんですが、広がってたくさん来てくださる分、なかなか名前も顔も一致するという関係性を作っていくことが難しくなっています。挨拶はしますが、「僕たちグループで勉強するんだからあまり声掛けしないで」みたいな雰囲気ですね。成長した子どもたちが、「大学進んだんだよ」とか、「結婚したんだよ」とか、管理人さんに話をしに来てくれるんですね。以前は公民館と利用者の間が近い雰囲気、いろいろ話せるような関係性が取れたのかもしれないですが、これだけ物理的に広がってしまうと難しい。居場所としてどういう形がいいのか、議長さんが言われたように子どもたちがどういうことを求めている、スタッフがどうかかわりを求めているのかを検証していかないといけないと思います。</p>
郷 議長	<p>ありがとうございました。 では、次に西地区公民館お願いします。</p>
西地区 公民館長	<p>平成26年度公民館事業の報告及び平成27年度事業計画、26年度事業評価シートについて説明いたします。 以下、資料によって説明。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。今ほどの西地区公民館の説明につきまして、何かご意見ご質問ありませんでしょうか。</p>
中島委員	<p>まなび屋の活動、15年目ということですが、子どもたちは何人くらい参加しているのでしょうか。</p>
西地区 公民館長	<p>21～22名になります。子どもたちの数は保育室のスペースで限定されるので、21～22名が限度となっております。それと、大学生の数が大体それと同じかそれ以上の時もあります。</p>
中島委員	<p>15年目ということですが、2年位前にこの事業を引き継ぎました。私の所属している課程でずっとやってきた事業ですので大体のことは把握していますが、実はもともと大学の授業の一環で、学生たちは3年間参加して2単位か1単位ぐらいというものなんですけど、本当にやりたい子たちがサークルの一つみたいな感覚でやってるんですね。もともと15年前に学生からの声で始まったものなんです。 具体的には、週一回木曜日の放課後に主に小学生の子どもたちを対象に、学校ではなかなか学べないような事を、自分たちが授業をしたり、あるいは外部講師を招いて、地域の中である物事について詳しい人を呼んできてお話しいただいたりしています。半分はそういう授業的なもので、残りの半分はフリータイムで自由に子どもたちと学生が本気で遊ぶ時間になっています。 子どもたちにとって大学生ってお兄ちゃんお姉ちゃんみたいな、少し憧れをもつ存在なん</p>

	<p>ですね。そういう人と接する人は少ないので、学校以外で憧れの対象を見つける、また、学生たちにとっても、非常に学習効果が高い場だなと思っています。</p> <p>夏は毎年合宿を行っていて今年は公民館でやる予定です。</p> <p>今年の5月末はウォーキングラリーを新潟大学の中で行いました。</p>
西地区 公民館長	<p>創設メンバーの学生スタッフの子どもがまなび屋に参加するという、サプライズがありました。</p>
郷 議長	<p>学社民連携というのが本当に見えている。学生スタッフが子どもと同じくらいにいるというのがありがたいですね。</p>
中島委員	<p>大学生がたくさんいるというのは、メリットもデメリットもあると思うんですが、子どもと大学生の関わりの中で、横のつながりは工夫しないとできにくいかもしれないです。</p> <p>大学生にとっては、大学の中ではなかなか力が見つからないところを、地域の力をお借りして力をつけてもらっています。今後ともよろしくお願いします。</p>
郷 議長	<p>では、黒埼地区公民館から説明をお願いいたします。</p>
黒埼地区 公民館長	<p>平成26年度公民館事業の報告及び平成27年度事業計画、26年度事業評価シートについて説明いたします。</p> <p>以下、資料によって説明。</p>
郷 議長	<p>ありがとうございました。今の説明について何かご質問等ありませんでしょうか。</p> <p>「公民館へ行かNIGHT」について、26年度の実施のあと、泊りにするか、夜帰宅させるか、課題整理をされましたか？</p>
黒埼地区 公民館長	<p>私どもは事業を終わりますと、必ず話し合って課題を整理し、また来年度について検討しております。泊りはよかった面もありますが、職員や協力員の関係でなかなか厳しいものがあります。</p> <p>実際のことを言いますと、お子さんは基本的に寝ないです。消灯だよと10時ころ戸を閉めるんですけど、30分くらいするとザワザワとして、11時ころまでは男の子が元気を出し、3時ころになると女の子が元気を出す。スタッフはまず寝られません。朝ごはんを食べて保護者が子どもたちを迎えに来るまでが私たちの仕事なので子どもたちが帰るまで見守ります。</p> <p>この事業は午後から開催するんですけど、内容を見るとだいたいもう9時半には終わるんですね。スケジュールをいろいろ検討した中で、子どもさんが楽しめて、交流が深められるにはどうするか検討が必要。</p>
郷 議長	<p>坂井東小学校も夏休みに泊りの事業をするんですが、150人くらいの子どもと80人くらいのスタッフが体育館に寝ますが、全員が寝たなんて思うのは30分くらいです。</p> <p>こっちが寝たかと思うとこっちが起き、こっちが寝たかと思うとこっちが起き、まあそんなふうなところで、子どもたちは興奮してますし楽しみにしているので。ただ私たちも夜の祭りをやったことがあるんですが、150人夜帰宅させる時にどうやって帰そうかというのも課題ですね。</p>

黒埼地区 公民館長	<p>人数が多いということですね。立佞小学校ではPTAの方が一生懸命で夏休みに泊まる。毎年増えて今180人くらいでやっています。父母も一緒になって泊まって大騒ぎでやる。感想で面白いといってくるんだけど、気を使って気分が悪くなる子どももいましたね。楽しいんだろうけれどもどうかと今悩み中です。</p>
中島委員	<p>私は、毎年山の方に子どもたちをいっぱい連れて2泊3日で行くんです。スタッフは3泊4日で帰ってくるんですが、今の子どもたちはしてもらうことに慣れていて、大人も何か企画して子どもたちに何かさせなくちゃと思うことが多いような気がします。例えば泊まったら公民館中をみんなで掃除するとか、前の日はイベントをして、翌日は自分で働いて午前中に帰り日程で、何か貢献する取り組みはどうでしょうか。子ども自身が与えられるばかりじゃなくて、ガラス窓を拭くとかすると大人から褒められたり、泊まってくれてよかったとか、来年も泊まってほしいとか、そういうつながりが生まれる。1泊はどうしても寝ないですよ。</p>
郷 議長	<p>私たちは学校でやるので、なぜ泊まらせるのか、ねらいとその内容をしっかりとスタッフが把握し、保護者にも連絡をする。子どもたちは、楽しみでやってきますが、中でもねらいを共有する。昔は学校で泊まったりお化け大会やったりした思い出もあるんですが、地域の人たちとの交流もありますね。あとは防災で体育館を使うというのもあるので、それもひとつのテーマにして活動プログラムに入れ込んだりしていますが、また今年度どんなふうな方向でやるのか楽しみにしています。</p> <p>次に小針青山公民館の方から説明お願いいたします。</p>
小針青山 公民館渡邊	<p>平成26年度公民館事業の報告及び平成27年度事業計画、26年度事業評価シートについて説明いたします。</p> <p>以下、資料によって説明。</p>
郷 議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今ほどの小針青山公民館の説明について何かご質問等ありませんでしょうか。</p> <p>基本的なことかもしれませんが、プレールームの小学生の居場所はどんな形でやってらっしゃるのですか。スタッフはいらっしゃるのですか。</p>
小針青山 公民館渡邊	<p>スタッフはおりません。プレールームという部屋がありまして、小学生以下を対象にしております。平日、月曜日から金曜日までは1時から5時、土日は9時から5時まで、プレールームという部屋を開放して自由に遊んでもらう。</p> <p>職員は時間を決めて巡回します。職員がいない休日、土日は、委託を受けた業者さんから巡回してもらいます。プレールームにはモニターが付いておりまして、危険な遊びやボールを投げたはいけないとか、乱暴なことをしてはいけないというルールがあるんですが、モニターを見るとそれがわかりますので、巡回していない時でも、見て、安全性が疑われるようなことがあれば職員が行って注意をするようにしています。</p>
土田委員	<p>館の様子がちょっとわからないんですが、学習室と中高生の居場所は同じ場所ですか。</p>

小針青山 公民館渡邊	学習室開放事業は夏休みと冬休みに実施しています。公民館の部屋を確保して学習室とします。子どもたちの居場所というよりも学習室というふうに考えるのでしょうか、中高生は勉強を主に使っています。
土田委員	おしゃべりしない、何々しないといわれると居場所ではないのかも。
小針青山 公民館渡邊	説明が悪かったかもしれませんが、学習室として限定して開放しているのではなくて、居場所なんですけど、結果として高校生と中高生が使うときに、勉強の場として使うことが多く、あまりうるさくしない方が良いのでは、ということです。騒いでいればそれなりに注意をしますが、今の人たちはみんなイヤホンをつけているので周りでワアワア言っても全然平気でやっている。そういう意味では傍らでしゃべっている人も居ます。全然大丈夫そんな感じです。
郷 議長	何か今日は全体を通して、子どもたちの居場所について質疑が活発だったという感じがします。居場所というのは、子どもたちが公民館に来ることはなかった時代から知っている私とか横坂委員は、「公民館は子どもも来てもいい場所なんだよ」、「赤ちゃんからお年寄りまで公民館にどうぞ」という形で、子どもたちの居場所、居ていい場所を作ろうっていうところからスタートしている。子どもたちにとってどういった場所が有益なのかなど、視察に行った時代もありましたし、あっちこっちでとにかく空きスペースを子どもたちのために作ろうという時代もありました。また大人と子どもと共存しながら関わりあう場所を作ろうといったときもありますし、最近は学習環境を作って子ども達のニーズに応えようっていう流れです。いろいろ試行錯誤して、各公民館ではそれなりに子どもたちにとっていい場所になっている。さらにいい場所にしようと、また検討を重ねていこうなんていうふうな話が多かったような気がします。土屋委員どうでしょうか、居場所について、子どもたちを学校でみているとどんな感じでしょうか。
土屋委員	居場所って、何というか、要は交流の場として最初は作ったわけですね。勉強したりする場所でもある。本来の狙いは変わってきてたかと思いますが、もともと公民館というのは社会のニーズに応じて変わっていくものだろうから、それはそれでいいと思うんです。ただ現状の中でいろいろ工夫していくといいのかなあとと思います。それから今年が高齢者を対象とした重点事業ということでいろいろな新規の事業もありますが、ぜひ、高齢者から交流の場に来てもらって、そこで子どもたちと交流できれば、それはそれで違った意義があるのではないかと思います。
郷 議長	ありがとうございました。他に何かご質問ご意見等ありませんでしょうか。
伊藤副議長	最後によろしいでしょうか。 今日、公民館サイトを見てきましたら、公民館のこういった企画事業がサイトに載っているんですが、4月から数えて見ましたら70件ほど乗っているんです。 西区公民館だけを見ましたら10件載っています。これはやはり担当者の方がマメに載せるかどうかの違いでしょうか。これだけ企画があるので載せた方がPRになるかと思います。 チラシを見るとメールアドレスが書いてあるので、おおいに利用した方が良いんじゃないのかなと感じております。鳥屋野、関屋、豊栄、中央公民館といったところはマメに載せてお

	<p>りますので、西区としてもおおいに利用した方が良いんじゃないのかなという感じがします。以上です。</p>
郷 議長	<p>ありがとうございました。これで、お預かりした議題の1. 2 終了ということで事務局の方に返したいと思います。</p>
事務局	<p>連絡事項のお知らせ。新潟県公民館大会の参加についてのご案内。正副議長会議の説明。</p> <p>以上をもちまして、平成27年度第1回坂井輪地区公民館運営審議会を閉会したいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>午後4時終了</p>